



◎半原教会の現状

半原教会が設立された 60 数年前、愛甲郡愛川町半原は撚糸業で繁栄し、人が溢れていました。しかし、繊維産業の衰退に伴い撚糸業も立ち行かなくなり、2016 年現在、限界集落の様相を呈しています。半原教会もその影響を免れず、年々教会員が減少し、今年度 1 名の長老が転居・転会し現住陪餐会員が 8 名となりました。加えて 09 年度以降、牧師が二代に亘り（横山望、澤田隆）半原以外に住居をもち、牧師館に住むことがありませんでした。また牧師交替に伴い、8 か月間の無牧を体験しました。更に、13 年 12 月に就任した澤田隆牧師は、14 年度同じ神奈川教区の藤沢北教会の代務者、翌年同教会兼務主任、そして、今年度は兼務担任に就任し、半原で十分な働きができておりました。

◎決意

しかし、澤田牧師は、年度途中の 10 月末をもって藤沢北教会兼務担任を辞任、12 月半原に単身転居しました。長老会は、新たな思いで教会の蘇生・自立を目指し、愛川町半原だけでなく、北に隣接し、日本基督教団の教会・伝道所がない相模原市緑区津久井をも伝道圏として見据え、活動することを決意しました。



◎お願い

まず右記のように、2017～19 年度の 3 か年伝道計画を立てました。しかし、人も資金も足りません。コンサート・ライブを開催しても、「さくら」となる教会員が数人しかおりません。教区を通して、日本基督教団に「伝道資金」を申請しましたが、それだけではとても賄えそうもありません。何よりも、祈りに覚えて、支えてもらいたいです。

そこで、身勝手にも、「半原教会サポート会」を立ち上げることにしました。

年会費：3 千円（1 年毎更新、退会自由、領収書発行をもって会員登録とする）。

参加協力：祈りに覚えてくださる。イベントへの参加、友人・知人への紹介。

報告：半原教会ウェブサイトの「会員ページ」で随時活動を報告。

活動休止を覚悟せざるを得ない教会の蘇生・自立はありうるのか、半原教会の試みが、一つのケース・スタディとなることは確かだと思います。この試みに参加し、力を貸してくださいませんか、どうかよろしくお願い致します。

2016 年 12 月アドベント

半原教会長老会

◎教会の存在を知ってもらうために

1. 愛川町、相模原市緑区津久井に、半原教会広報「Gospel News」(B4 版両面フルカラー、業者発注)を、1 万部、年 4 回配布します。(西部連合長老会・箕面東教会で実施経験有り)。「Gospel News」第 1 号 1 面のサンプルを、裏面に記載します。
2. 半原教会の現在のウェブサイトを、作成会社に発注し、リニューアルします

◎教会建物に、年間、延べ 3 千人が出入りするために

3. 半原教会広報「Gospel News」に記事掲載のためにも、週日、以下の Activity を開始します。(すぐに参加者、生徒が集まるとは思えませんが、活字ばかりの広報など、だれも読まない、手に取ってみることすらしないことは、すでに経験済み)
 - (ア) 半原カルチャーセンターを開設し、聖書公開講座（16 回ワンクール、有料、1 回 300 円、テキスト&ワンドリンク付）を開講します
 - (イ) こどもの英語教室（外部から、ネイティブのプロの教師を招く、有料）を開く。教会堂、牧師住宅の壁面に、上記のイラスト・ボード（A0 サイズ 6 枚、新谷はるか氏作）を掲示する
 - (ウ) 年 4 回、若手のアーティストを招き、半原ライブを行う。(第 1 回を来春に予定)
 - (エ) 囲碁、もしくは「福音麻雀クラブ」を開く
4. 「讃美を歌う会」を毎月 1 回開催する。「教会の中まで響くツーリングの騒音、今度は教会の中から讃美を外に響かせましょう」と、鈴木義嗣牧師（港南希望教会）が申し出てくださった会です。最初は一人、二人から・・・
5. 週日も礼拝堂をオープンにし、長老、牧師が詰め、対応します
6. 訪問、路傍伝道を行います。JR 横浜線の橋本駅西口で、のぼりを立てて路傍伝道もやってみようと思います

◎キリストの体である教会の衣服を整えるために

7. 教会建物の修理・塗装します。教会建物は豪華である必要はありませんが、清潔感があり、入りやすいものが良いと考えます。礼拝堂と牧師館の外壁の塗装は、すでに実施しましたが、老朽化が著しい付属建物（旧牧師住宅）はまだです。今後、集会室として使用頻度も増しますので屋根（鉄波板）外壁（木板）の塗装を行います

